

議会改革検討会議報告書

平成30年5月18日

神奈川県議会 議会改革検討会議

当会議において、議会 I C T について協議した結果を、次のとおり報告する。

1 検討の経緯

議長から次の二点について協議依頼があった。

(1) 現在利用しているタブレット、サーフェスについては、今年の8月末で2年のリース期間が満了を迎えることから、その後の対応について、検討いただきたいこと。

(2) 併せて、現在までの議会 I C T の取組についての成果を検証し、今後の活用について協議いただきたいこと。

協議依頼があったこれらのうち、(1)について、結論を得たので報告する。

2 協議概要

平成30年2月23日(金)及び3月22日(木)に、当会議を開催し、次の通り、協議を行った。

議会 I C T については、議会として、独自に、システムを構築し、取組を進めているところであるが、議会に先行して、取組を行っている県当局においては、職員の I C T 環境について、現在 i P a d とノートパソコンの2台使用から、モバイル P C 1 台に移行することであった。

そこで、議会における次期機器の検討の参考とするため、情報システム課長から、資料1に基づき、当局の I C T 環境の整備について、聴取した。

次いで、議会局から資料2のとおり「議会 I C T の成果等について」及び「本会議における紙資料削減実績」について説明があった。

次いで、協議の過程で、委員から質問のあった、次期機器のイメージについて、議会局から次のとおり説明があった。

- 議会審議に有用であり、持ち運ぶことができる大きさであるもの。(現在のタブレットよりは、画面が少しでも大きく見やすいもの)
- 使いやすいキーボードが付いているもの
- なお、当局においては、必要に応じて、大型ディスプレイも別途用意するとのことであり、これについても視野に入れる必要があること。

これらを受け、座長の指示により、モバイルPCとタブレットの比較、機器仕様の考え方、代表的なクラウドソフトの比較など3点を示した資料3を議会局が作成し、改めて次期機器のイメージについて、説明が行われた。

3 協議結果

現在利用しているタブレット、サーフェスについては、今年の8月末で2年のリース期間が満了を迎えるが、その後の対応について次の通り結論を得た。

- (1) サーフェスの平成30年度におけるリースの延長については、予算の効率的な執行や、現在の利用状況などを鑑み、これを行うこととする。
- (2) リース延長後における対応については、原則として資料3に記載の仕様例を満たす機器を選定し、更新を行う。
- (3) 議会における利用形態が、審議における資料閲覧や、資料の検索、執務室での資料作成、視察時の参考資料検索などであることを踏まえ、次期機器を選定するにあたっての基本的な考え方を次のとおり整理した。

- ① 利用形態を中心に総合的に機種を考えると、モバイルPC、タブレットといった分類にはこだわらない。
- ② 資料閲覧のため、画面はできるだけ大きなものとするが、一方で、本会議場、委員会室、視察場所などへの持ち運びしやすいように、できるだけ軽量であること、また、画面とキーボードが取り外し可能であることが望ましい。
- ③ 執務室での作業を考慮し、できるだけ、文書作成しやすいキーボードであること
- ④ 現在利用している議会クラウド、サイドブックスについては、議会審議への利用のしやすさや、コスト的な観点も考慮しながら、引き続き検討を行う。

なお、上記のほか、手軽で、操作しやすいという観点から、iPadのような閲覧性に優れた機器がよいのではないかという意見、また、同じく閲覧性の観点から、通信速度の速いものを求める意見、さらに、議会クラウドに、貸与タブレット以外からもアクセスできることを望む、といった意見もあった。

- (4) 議長から、付議された「現在までの議会ICTの取組についての成果の検証と今後の活用について」は、引き続き検討を行う。